

平成29年 2月21日

## 芋井地区公共施設再配置基本方針（案）

芋井地区公共施設整備検討委員会

## [1]本委員会の目的と検討事項

芋井地区公共施設整備検討委員会開催要領の第3によれば「次に掲げる施設及びその敷地に整備しようとする施設の再配置や更新について検討して整備計画を策定し、長野市に対して提言するとともに、その内容について長野市と協議を重ね新たな施設のスムーズな建設の実現を目的とする」とある。

したがって、下記(表-1)記載の既存施設について将来に亘り必要な施設か否かを判断し、必要と判断される施設については何処に配置したら良いかを検討し提言する。

なお、既存施設を整備して新たな施設を建設する場合には仮移転が必要となるが、このような状況についても住民サービスを損わずに移転可能な方策を提案する。

検討を行う公共施設 (表-1)

No.	対象施設名称
①	芋井支所
②	芋井農村改善センター
③	芋井公民館
④	芋井小学校
⑤	芋井中学校
⑥	芋井保育園
⑦	芋井児童センター
⑧	芋井小学校第一分校
⑨	教職員住宅
⑩	芋井体育館
⑪	消防芋井分団

## [2]公共施設の再配置計画の整理に当たっては以下の手順によって検討を進める。

- (1) 芋井の将来を展望し、どのような施設が必要であるかの検討を行なう。(必要な施設は何か)
- (2) 必要とする施設は、何処に配置する事が最も良いかの検討を行う。 (移転の適地は何処か)
- (3) どの位置にどの施設を配置したら良いかの検討を行う。 (再配置計画の策定)
- (4) 段階的な移転スケジュールの検討を行う。 (具体的な再配置計画の策定)

## [3]芋井の将来を展望し、どのような施設が必要であるかの検討

- (1) 現在配置されている施設が今後も継続して必要かどうかの検証

(表-2)

No.	対象施設名称	必要性	必要性理由と関連事項	備考
①	芋井支所	○	行政施設・芋井の中心的存在	
②	芋井農村改善センター	×	不要(農協施設)	
③	芋井公民館	○	社会教育施設	
④	芋井小学校	○	義務教育施設 / 継続開校要	
⑤	芋井中学校	×	不要(H24閉校のため)	
⑥	芋井保育園	○	幼児教育施設 / 継続開園要	
⑦	芋井児童センター	○	学校教育施設 / 継続開園要	
⑧	芋井小学校第一分校	×	不要(H19休校のため)	
⑨	教職員住宅	×	不要(教職員の福利厚生上必要性を失う)	
⑩	芋井体育館	×	統廃合の必要あり	
⑪	消防芋井分団	○	有事の際の拠点施設	

※少子化社会の進行が保育園・小学校の存続問題に影響するが、本稿では地域の施策及び行政との協調を図る上で地域の重要な拠点として継続することを前提に計画する。

- (2) 社会情勢の変化や諸提案から新たに必要となる施設及び現状形態を継続する必要性の高い施設。

1) 高齢者が集い触れ合える施設、かがやきひろばの新設。

(かがやきひろば:高齢者の健康増進、教養の向上、レクリエーションのための地域福祉活動の場)

- 2) 芋井地区内の伝統文化を検証し後世に伝える歴史文化資料施設。
  - 3) 小学校周辺に不足する駐車場の設置。
  - 4) 芋井小学校第一分校の多目的ホールは、第一地区はもとより芋井地区全体のコミュニケーションの場として利活用されており存在価値が高いことから継続利用を考慮する。
  - 5) 芋井小学校第一分校は比較的新しい建物のため、民間による活用を考慮し地域活性化を図る。
- (上記は芋井地域づくり諮問委員会及び公共施設について考える市民ワークショップからの提案)

◆以上の検証から継続新規合わせた芋井地区に必要な施設は(表-3)に示すとおりとなる  
(表-3)

No.	必要な施設名称
①	芋井支所・住民自治協議会会場
②	芋井公民館
③	芋井小学校
④	芋井保育園
⑤	芋井児童センター
⑥	長野市消防団芋井分団詰所
⑦	かがやきひろば
⑧	歴史文化資料施設
⑨	小学校周辺の駐車場
⑩	地域コミュニティーの場
⑪	民間活用施設

★したがって、機能として不要となる施設名称は  
下記のとおり  
(表-4)

芋井農村環境改善センター
芋井中学校
芋井小学校第一分校
教職員住宅
芋井体育館

[4]次に必要とされる施設は何処に配置されるべきか最適な場所の検証を行う。

- (1)配置箇所の安全性を考慮し土砂災害警戒区域(レッド)は避ける。
- (2)既存施設再利用の場合は耐震性を有する建物とし安全性を確保する。
- (3)高齢化社会を考慮しバス停に近い位置への設置により交通利便性を確保する

★上記3項目に対し対象施設を(表-1)をさらに細分化しながら整理する。

- (1)(2)の土砂災害上及び耐震性からの安全性を確認する

(表-5)

No.	対象施設名称	耐震性	土砂災害警戒区域等			耐震上 継続使用 の可能性	土砂災害 上からの 安全性	備考
			がけ崩れ		地滑り			
			レッド	イエロー	イエロー			
①	芋井支所	無	—	—	○	×	○	
②	芋井農村環境改善センター	無	—	—	—	×	◎	
③	芋井公民館	有	○	○	○	○	×	
	芋井小学校[校舎]	有	—	○	—	○	○	
④	〃 [特別教室棟]	有	○	○	—	○	×	
	〃 [体育館]	有	○	○	—	○	×	
	旧芋井中学校[南校舎]	有	—	○	—	○	○	
⑤	〃 [北校舎]	無	—	○	—	×	○	
	〃 [体育館]	有	○	○	—	○	×	
⑥	芋井小学校第一分校[校舎]	有	○	○	—	○	×	
	〃 〃 [体育館]	有	○	○	—	○	×	
⑦	教職員住宅	不明	—	○	—	—	○	
⑧	芋井保育園	有	○	○	○	○	×	
⑨	芋井児童センター	有	—	○	—	○	○	
⑩	芋井体育館	有	○	○	○	○	×	
⑪	長野市消防団芋井分団詰所	有	○	○	○	○	×	

(注) ※土砂災害警戒区域欄の(○印)は対象区域に該当し、(一印)は対象外  
 ※耐震上継続使用の可能性欄の(○印)は使用可能で(×印)は使用不可能、(一印)は不明  
 ※土砂災害上からの安全性欄の(○印)は安全で、(○印)は準安全、(×印)は安全性不可  
 ◆上記(表-5)による土砂災害上からの安全性は、支所周辺が最も良好である。  
 また、芋井小学校周辺や芋井中学校周辺及び児童センター周辺が続く。  
 ◆なお既存建物再利用による耐震上の判断は、上記(表-5)を参考とする。

(3) 次に高齢化社会を考慮し、交通利便性についてバス停との関連から検証を行う

(表-6)

No.	対象施設名称	長野戸隠線のバス停との関連	備考
①②	芋井支所・農村改善センター	◎	
③	芋井公民館	○	
④	芋井小学校	○	
⑤	旧芋井中学校	○	
⑥	芋井小学校第一分校	◎	
⑦	教職員住宅	○	
⑧	芋井保育園	○	
⑨	芋井児童センター	○	
⑩	芋井体育館	○	
⑪	長野市消防団芋井分団詰所	○	

◆上記表から判断する交通利便性は、芋井支所周辺及び芋井小学校第一分校が最適である。

●以上の検証結果から安全性・交通利便性を考慮した上で再配置の適当な位置は  
 《1》支所の周辺が最も適当な位置と考えら。  
 《2》次に適当と思われる位置は、交通利便性は少し劣るが芋井小学校及び旧芋井中学校  
 周辺が挙げられる

[5]以上により、芋井として将来必要な施設の抽出と配置すべき適地を決定したが、ここに、芋井公共施設再配置計画の作成(何処にどの施設を配置するか)に当たり配慮すべき事項を整理する。

(1) 現在分散している施設の集約化を図り、失われている芋井の拠点施設の創出を考慮する。

1) 芋井地区の公共施設は、先人の努力により多くの施設が立地しているが、広いエリアに分散されていることや核となる施設の喪失により芋井の拠点が何処にあるか不明となっている。したがって、今般の再配置計画の樹立に当たり、必要とする地区内公共施設の集約化による芋井地域の拠点創出を考慮する。

(2) 地域の意見を聴取・集約するという意味から、組織決定された団体からの提案を尊重する。

1) 芋井地区地域づくり諮問委員会からの提案

- ①旧芋井中学校南校舎に「かがやきひろば」の設置と併せ、「児童センター」を設置して高齢者との連携を図り世代間交流の拠点創出を図る。また同校舎に「歴史文化資料施設」を設置する。
- ②旧芋井中学校北校舎棟は、解体して「駐車場」に転用する。
- ③旧芋井中学校体育館は、統合する各種施設の「スポーツ及び集会施設」として活用する。
- ④芋井地域内公共施設を桜バス停付近に一極集中化し、併せて金融機関や店舗等を併設する。

2) 芋井地区の公共施設について考える市民ワークショップからの提案。

- ①芋井公民館の配置に当たり、5グループの内4グループが支所周辺への機能移転を提案
- ②芋井保育園と児童センターの配置に当たり4グループが小学校、旧中学校への機能移転を提案
- ③旧芋井中学校の利活用に当たり、3グループが高齢者施設の誘致を提案
- ④小学校周辺への駐車場の整備は、3グループが提案

- ⑤芋井体育館は、4グループが小学校及び旧中学校へ統合を提案  
 ⑥芋井小学校第一分校の教室棟は比較的新しい建物で活用可能なため、民間利活用による地域活性化を提案

[6]芋井公共施設再配置計画の作成に当たっての基本方針を以下の3点とする

- (1)最も適当な位置と選定された支所周辺に多くの機能を集約し、芋井の拠点施設を創出する。  
 (行政サービスゾーンと位置付ける)
- (2)続いて適当な位置と選定された小学校周辺に、教育関連施設及び世代間交流施設を統合する。  
 この場合、耐震性のある旧中学校南校舎の再利用を行う  
 (教育文化ゾーンと位置付ける)
- (3)芋井全体の地域バランスと現状の使用形態及び交通利便性を考慮するとともに、芋井で最も新しい公共施設としての小学校第一分校を利用する。  
 (コミュニティー・民活ゾーンと位置付ける)

[7]以上前記[5]及び[6]の整理から再配置計画(最終形)を整理し(表-7)記載する。

◆再配置計画《最終形》

(表-7)

ブロック	No.	再配置施設計画	再配置及び更新の区分	再配置更新理由	配置箇所及びゾーン名称
【A】	①	芋井支所	新設	老朽化解消	支所周辺 《行政サービスゾーン》
	②	住民自治協議会	〃	〃	
	③	芋井公民館	〃	機能集約移転	
	④	消防芋井分団詰所	〃	〃	
【B】	⑤	芋井小学校[校舎]	既存施設利用	既存開校	小学校周辺 《教育文化ゾーン》
	⑥	〃[特別教室棟]	〃	〃	
	⑦	〃[体育館]	〃	〃	
	⑧	芋井保育園	再配置・旧中学校南校舎活用	既存建物活用	
	⑨	芋井児童センター	〃	〃	
	⑩	かがやきひろば	〃	〃	
	⑪	歴史文化資料施設	〃	〃	
	⑫	スポーツ集会施設	旧中学校体育館活用	〃	
	⑬	駐車場	新設・〃北校舎解体利用		
	⑭	コミュニティー施設	第一分校多目的ホール	既存建物活用	第一分校周辺 《コミュニティー・民活ゾーン》
【C】	⑮	民間活用施設	〃校舎活用	〃	
	⑯	上記⑭、⑮関連施設	〃体育館活用	〃	

《備考》

- <1>支所周辺は芋井の拠点として多くの施設を統合することから駐車場の不足が考えられる。対策として周辺用地の買収も考えられるが、ここでは建物施設をピロティ方式とし、1階を駐車場、2階以上を事務室として利用することによる解決を提案する。なお、このことにより、2階事務室へは県道長野戸隠線から昇降することなく平らに進入する事が可能となり高齢者他へのバリアフリーが達成できる。
- <2>消防芋井分団詰所は、支所あるいは公民館施設の一角での対応も考慮する。
- <3>支所周辺には高齢者の利便性を考慮し金融機関のATMの設置及び店舗を別途考慮する。
- <4>芋井小学校及び小学校第一分校の一部は、土砂災害警戒区域のレッドに該当する部分も存在するが、双方とも避難場所として指定されている現状から将来対策工事の必要性も考慮する。
- <5>第一分校の民間活用は、教育施設及び高齢者施設等が考えられるが詳細は今後別途検討する。
- <6>今回の検討内容は(表-1)のとおり飯綱地区の公共施設は対象外であったが、飯綱地区についても今後必要に応じ別途検討を協議するものとする。併せて飯綱地区と上記各ゾーンを結節する道路の拡幅整備を考慮し、双方の一体化の醸成に寄与する。

## [8]最終形に至るまでの段階的移転スケジュール及び運用

- (1) 芦井支所は、長野市の中で最も古くそして耐震性を有していない数少ない施設に数えられている現状から、早急に改修を行い安全性の確保と市民満足度を高めるものとする。  
併せて住民自治協議会及び芦井公民館、消防分団詰所を同時に事業化するものとし、地区の拠点として上記(表-7)の【A】ブロックを早期に完成させるものとする。芦井公民館は解体を基本とするが、民活の需要が想定される場合は別途考慮とする。  
なお、支所及び住民自治協議会の仮移転場所は、旧芦井中学校南校舎1階とする。
- (2) 【B】ブロックの旧中学校南校舎へ移転予定の芦井保育園・芦井児童センターは、現在供用している施設が老朽化で使用不可能となった段階及び管理者が必要と判断した場合に移転を考慮する。
- (3) 【B】ブロックの旧中学校体育館はスポーツ集会施設としたが、古建築のため将来取扱いを考慮する。
- (4) 旧芦井中学校へ移転する施設の移転場所(案)は以下のとおりとする。
  - ①芦井保育園:1階 ②芦井児童センター:2階 ③かがやきひろば:1階
  - ④歴史文化資料施設:2階図書室 ⑤スポーツ集会施設:体育館
- (5) 【C】ブロックのコミュニティ施設は、多目的ホール・和室・実習室とし、民間活用施設は教室棟とする。  
体育館は双方供用使用とする。
- (6) 旧芦井中学校の北校舎は、駐車場不足を考慮し解体して駐車場に整備する。
- (7) 教職員住宅は解体する。
- (8) 芦井体育館は、老朽化で使用不能となった段階及び管理者が必要と判断した場合に解体する。
- (9) かがやきひろばは旧中学校1階が良好と考えられるが、その開設は、支所の仮移転等の動向を見据えながら位置、時期等については弾力的な運用を考慮する。

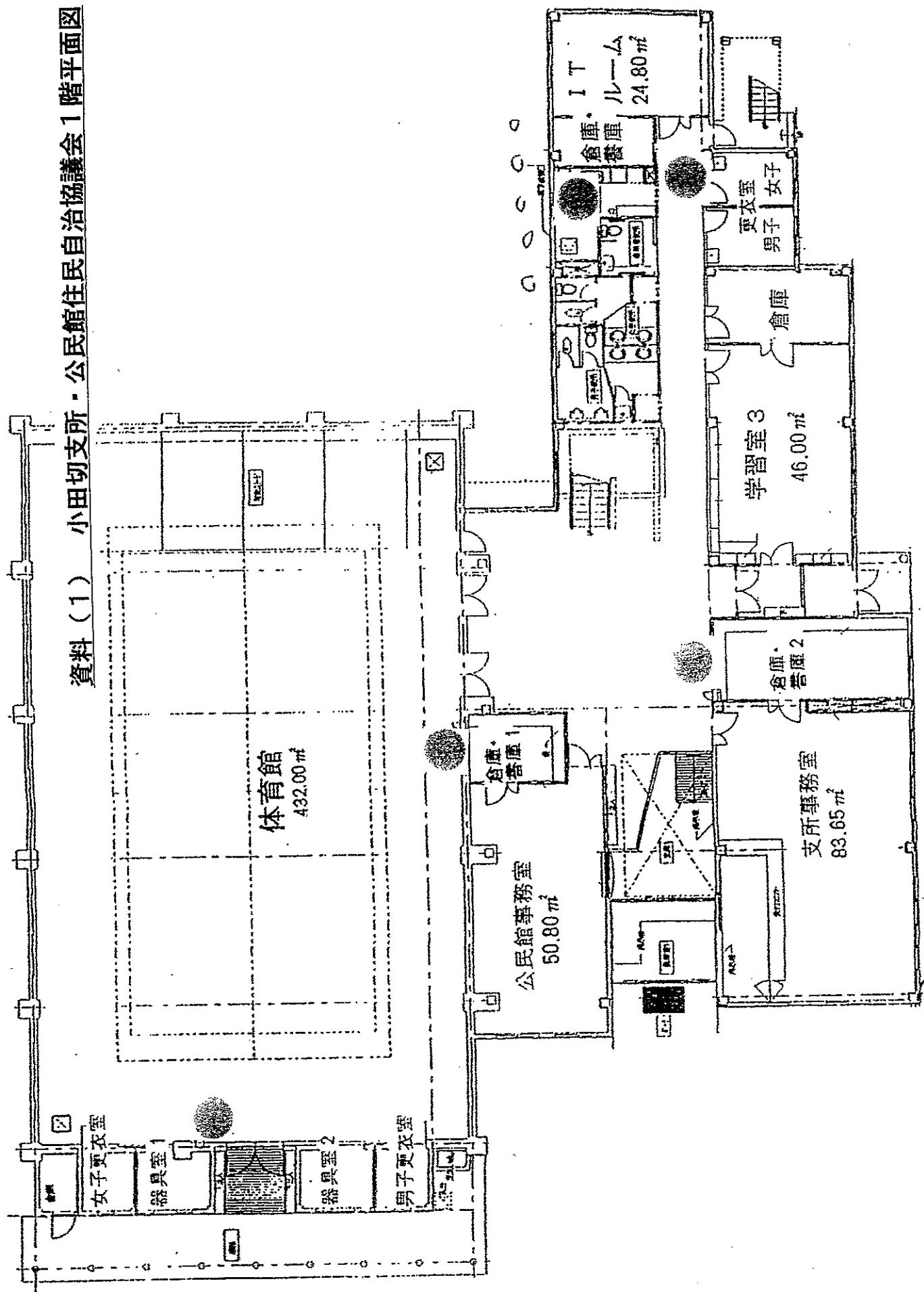
◆公共施設再配置計画に関する段階的運用計画

(表-8)

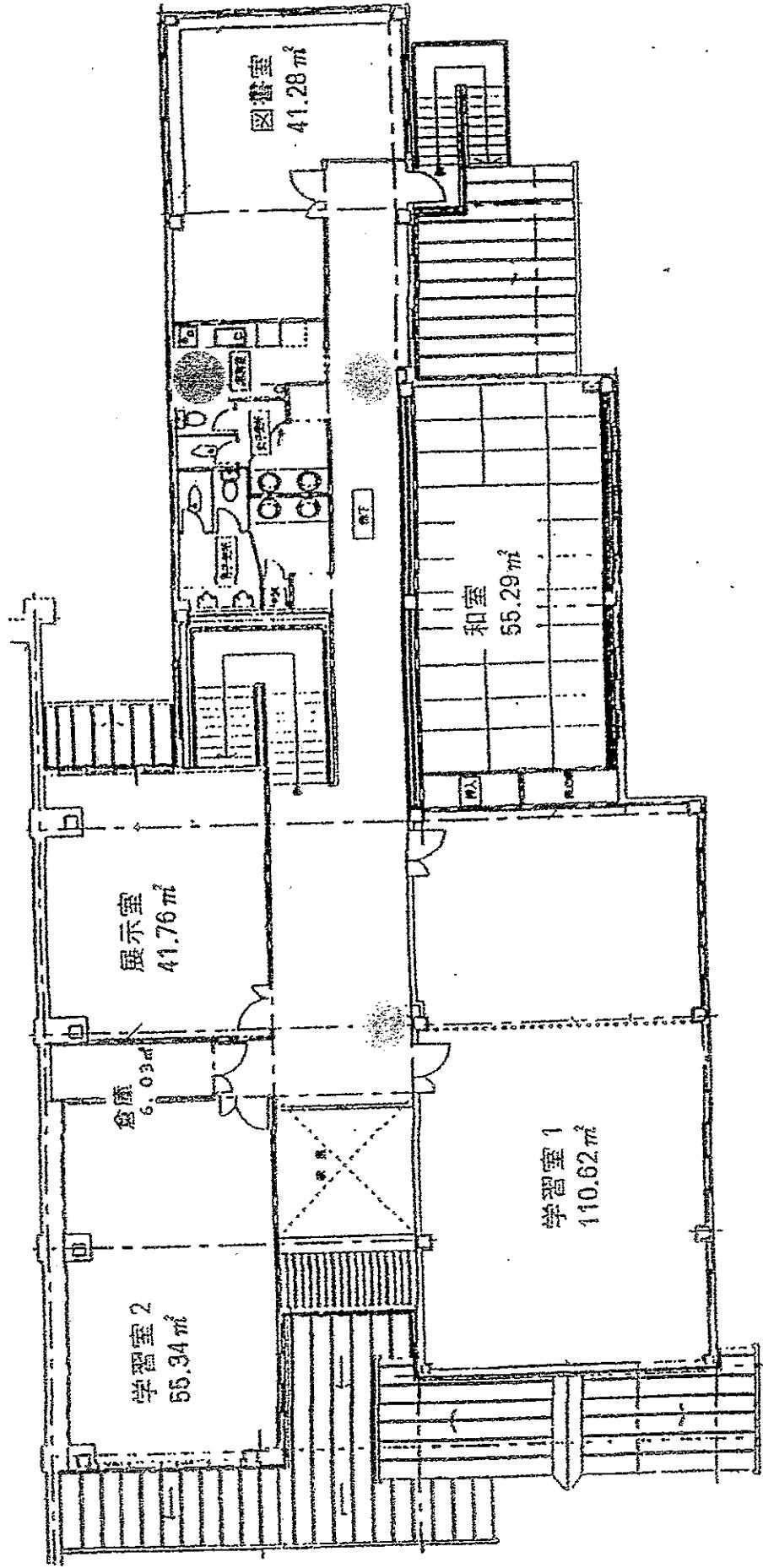
ブロック	No.	再配置施設計画	再配置及び更新の区分	再配置更新理由	再配置スケジュール		備考
					第一段階	第二段階	
【A】	①	芦井支所	新設	老朽化解消	○	—	
	②	住民自治協議会	〃	〃	○	—	
	③	芦井公民館	〃	機能集約移転	○	—	
	④	消防芦井分団詰所	〃	〃	○	—	
【B】	⑤	芦井小学校[校舎]	既存施設利用	既存開校	○	—	
	⑥	〃[特別教室棟]	〃	〃	○	—	
	⑦	〃[体育館]	〃	〃	○	—	
	⑧	芦井保育園	再配置・旧中学校南校舎活用	既存建物活用	—	○	
	⑨	芦井児童センター	〃	〃	—	○	
	⑩	かがやきひろば	〃	〃	—	○	
	⑪	歴史文化資料施設	〃	〃	○	—	
	⑫	スポーツ集会施設	旧中学校体育館活用	〃	○	—	
	⑬	駐車場	新設・〃北校舎解体利用		○	—	
	⑭	コミュニティ施設	第一分校多目的ホール	既存建物活用	○	—	
【C】	⑮	民間活用施設	〃校舎活用	〃	—	○	
	⑯	上記⑭、⑮関連施設	〃体育館活用	〃	—	○	

## ※参考図書

- 資料(1) 小田切支所・公民館・住民自治協議会1階平面図 (上記【A】ブロックの参考として添付)
- 資料(2) 〃・〃・〃・〃 2階平面図 ( )
- 資料(3) 芦井小学校・旧中学校周辺平面図
- 資料(4) 旧芦井中学校南校舎平面図
- 資料(5) 芦井小学校第一分校平面図
- 資料(6) 支所庁舎等一覧表(建築年順)



資料(2) 小田切支所・公民館住民自治協議会2階平面図



施設の配置図	縮尺 1/1200	南北 北へ	東西 西へ	測量員 ○	監修 ○	監修 ○	監修 ○	監修 ○
学名	学年	中学校	小学校	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
3	3							

### 資料(3) 芹井小学校・旧芹井中学校周辺平面図

(平成23年度)

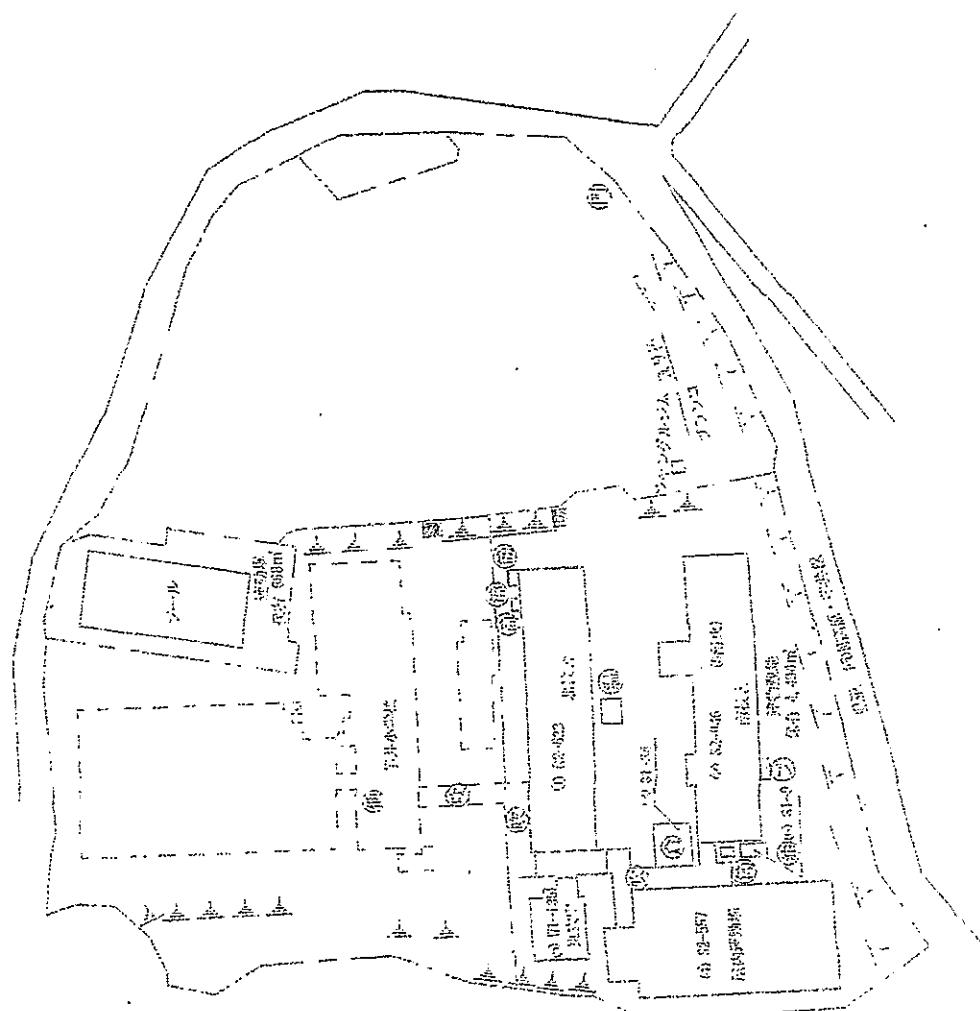
附録

建物

- ① 事務室
- ② 会議室
- ③ 倉庫
- ④ 教室
- ⑤ 一階廊下
- ⑥ 体育館
- ⑦ 運動場

建物以外の  
工作物

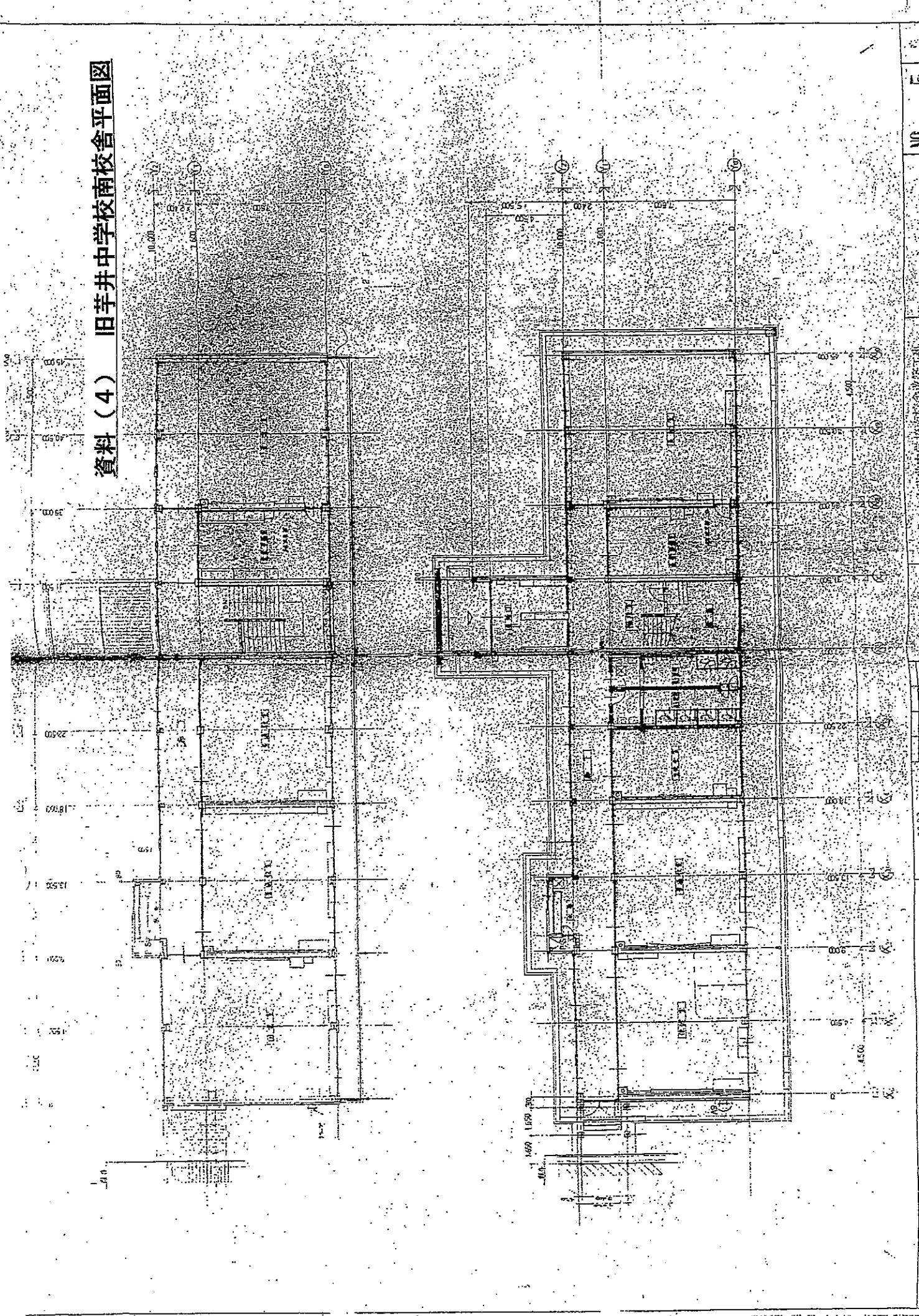
- ⑧ 日照熱遮断
- ⑨ 蔓
- ⑩ 砂
- ⑪ 水栓
- ⑫ 廃物・廃油槽
- ⑬ 廉價小屋
- ⑭ 水塔
- ⑮ 開水栓
- ⑯ ポール
- ⑰ 廃油槽
- ⑱ 廃油槽下
- ⑲ 油
- ⑳ 燃料
- ㉑ 廉價貯蔵
- ㉒ 仮設便所
- ㉓ 便所
- ㉔ アスレチックコース
- ㉕ その他の機器
- ㉖ 布玉手毬
- ㉗ 鞍馬
- ㉘ 小石



方位



資料(4) 旧芋井中学校南校舎平面図



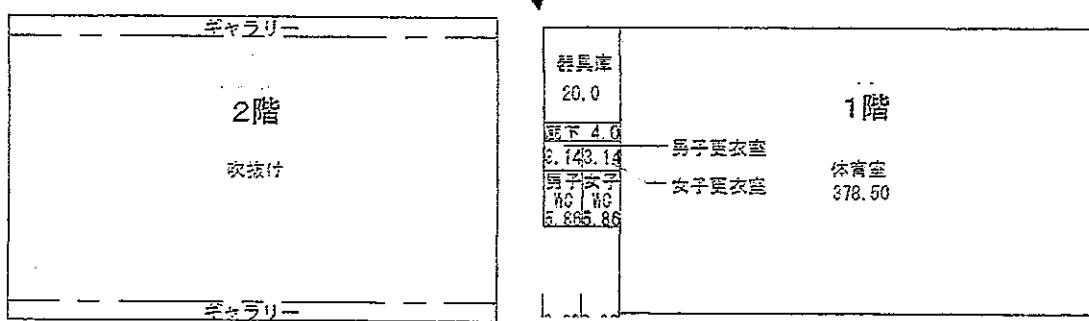
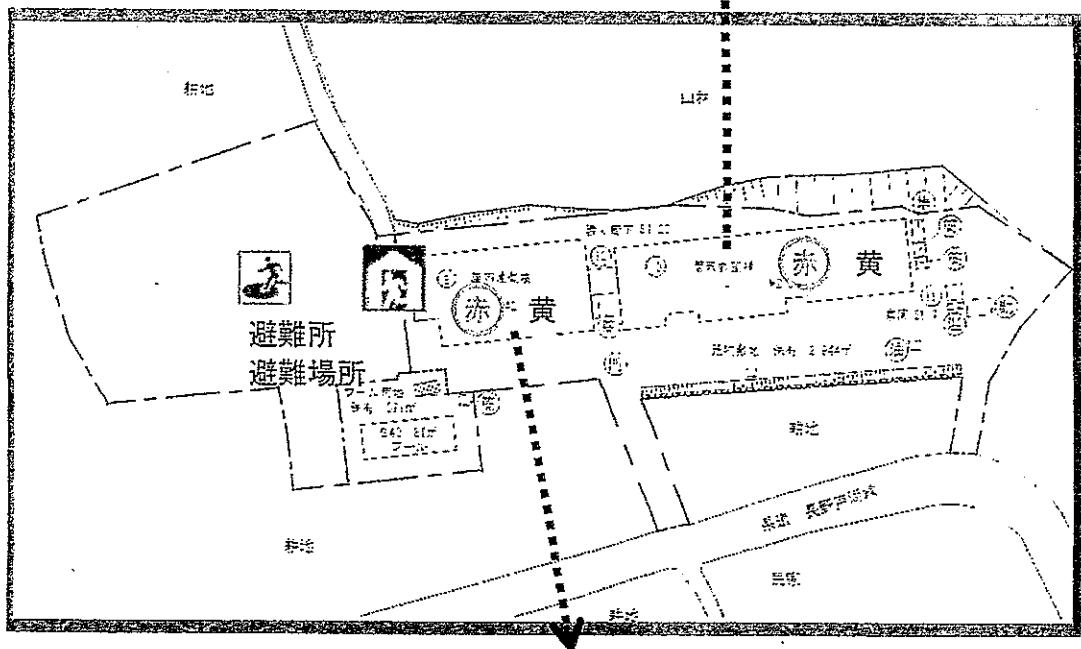
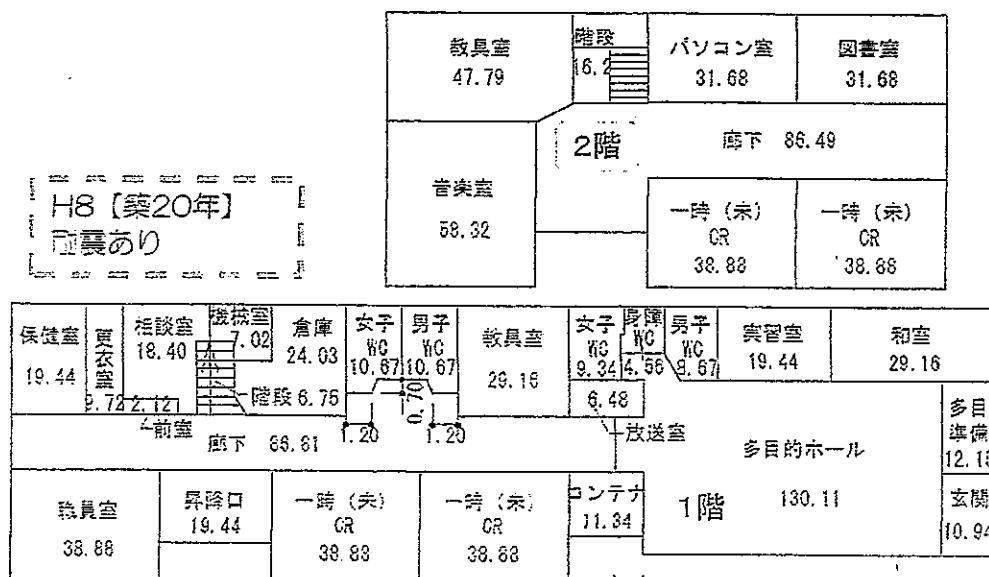
## 資料(5) 芹井小学校第一分校平面図

赤

土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)

黄

土砂災害警戒区域(急傾斜地)



S60 [第31年] 防震あり

資料(6) 支所庁舎等一覧表(建築年順)

平成26年6月20日現在

No.	施設名	床面積		建築年月	増改築年月	階層		構造 *1	耐震性	合築
		延床面積	内支所分			地上	地下			
1	篠ノ井支所	2,277.41	829.10	S44.4	S56.1 H2.12	3		RC/S	×	○
2	七二会支所	986.40	405.39	S45		2		RC	×	農協
3	中条支所	1,362.43	1,362.43	S47.1		3		RC	×	
4	信里連絡所	644.37	240.36	S47.5		2		RC	未実施	農協
5	若槻支所	1,307.98	206.67	S47.11	H元.11 H5.3 H17.9	2		RC	○	○
6	更北支所	1,154.96	619.03	S52.12	H12.3	2		S	改修H27~	○
7	芋井支所	608.70	72.70	S53.1		2		S	未実施	○
8	長沼支所	848.40	124.86	S58.2	H7.3	1		S	○	○
9	三輪支所	572.19	84.75	S61.3		2		S	○	○
10	朝陽支所	515.80	87.49	S62.9	H4.2	2		RC	○	○
11	古牧支所	844.02	141.22	S62.12	H20.12	2		S	○	○
12	松代支所	1,330.16	1,330.16	S63.9		2		S	○	○
13	川中島支所	1,307.95	1,085.82	H元.4		2		RC	○	
14	若穂支所	1,366.31	1,366.31	H元.10		2		S	○	○
15	信更支所	871.06	871.06	H2.8		2		S	○	
16	大岡支所	1,749.62	1,749.62	H2.4		3	1	RC/W	○	○
17	安茂里支所	2,431.84	331.89	H3.2		2		SRC	○	○
18	信州新町支所	4,080.15	4,080.15	H5.3		3	1	RC	○	○
19	戸隠支所	4,239.22	4,239.22	H6.4		3	1	SRC	○	○
20	小田切支所	1,384.64	298.97	H8.10		2		RC/S/W	○	○
21	吉田支所	25,488.13	339.15	H9.11		13	1	SRC	○	○
22	芹田支所	6,978.49	511.00	H10.3	H19.12	4		SRC	○	○
23	浅川支所	1,579.40	459.00	H10.11	H13.8	2		S	○	○
24	豊野支所	4,700.46	4,700.46	H11.12		3		SRC/S	○	
25	鬼無里支所	3,446.21	3,396.29	H12.3		2	1	SRC	○	農協ほか
26	古里支所	1,598.47	232.66	H14.3		1		S	○	○
27	柳原支所	2,244.93	471.61	H23.3		2		S	○	○
28	大豆島支所	1,634.18	463.42	H25.3		1		S	○	○

W—木造、S—鉄骨造、RC—鉄筋コンクリート造、SRC—鉄骨鉄筋コンクリート造